

第2回 (仮称) 若草大橋延伸線ワーキンググループ

第1回ワーキンググループの概要

1. 第1回ワーキンググループの概要

1.1 結果概要

第1回WG議事概要(R6.2.2開催)

第1回 (仮称) 若草大橋延伸線協議会ワーキンググループ 議事概要

1. 日 時：令和6年2月2日(金) 15:00~16:00
 2. 場 所：千葉県印旛合同庁舎 2階 入札室
 3. 出席者 [座 長] 県土整備部 道路計画課 企画室長
県土整備部 道路整備課 副課長
県土整備部 道路環境課 副課長
印旛土木事務所 次長 [代理：調整課長]
印西市 都市建設部長
栄 町 都市建設課長
 4. 内 容
 - ・路線の概要、上位計画の状況、周辺の交通状況・課題について確認した。
 - ・引き続き、ワーキンググループにおいて、計画の具体化に向け、概略ルート・構造の検討を進めていく。
- 主な意見
- ・道路に求める機能等について、市町の地域の将来像等を踏まえ、検討していくこと。
 - ・交通渋滞などの交通課題について、(仮称)若草大橋延伸線の整備による効果を検討していくこと。

以 上

市町の地域状況・課題

交通状況・課題

- ・栄橋、長豊橋に交通が集中し、渋滞が発生している。また、南北路線にアクセスするための交通が国道356号に集中し渋滞が発生している。
- ・国道356号等の幹線道路や安食市街地内の生活道路でも事故が散見される。

地域状況・課題

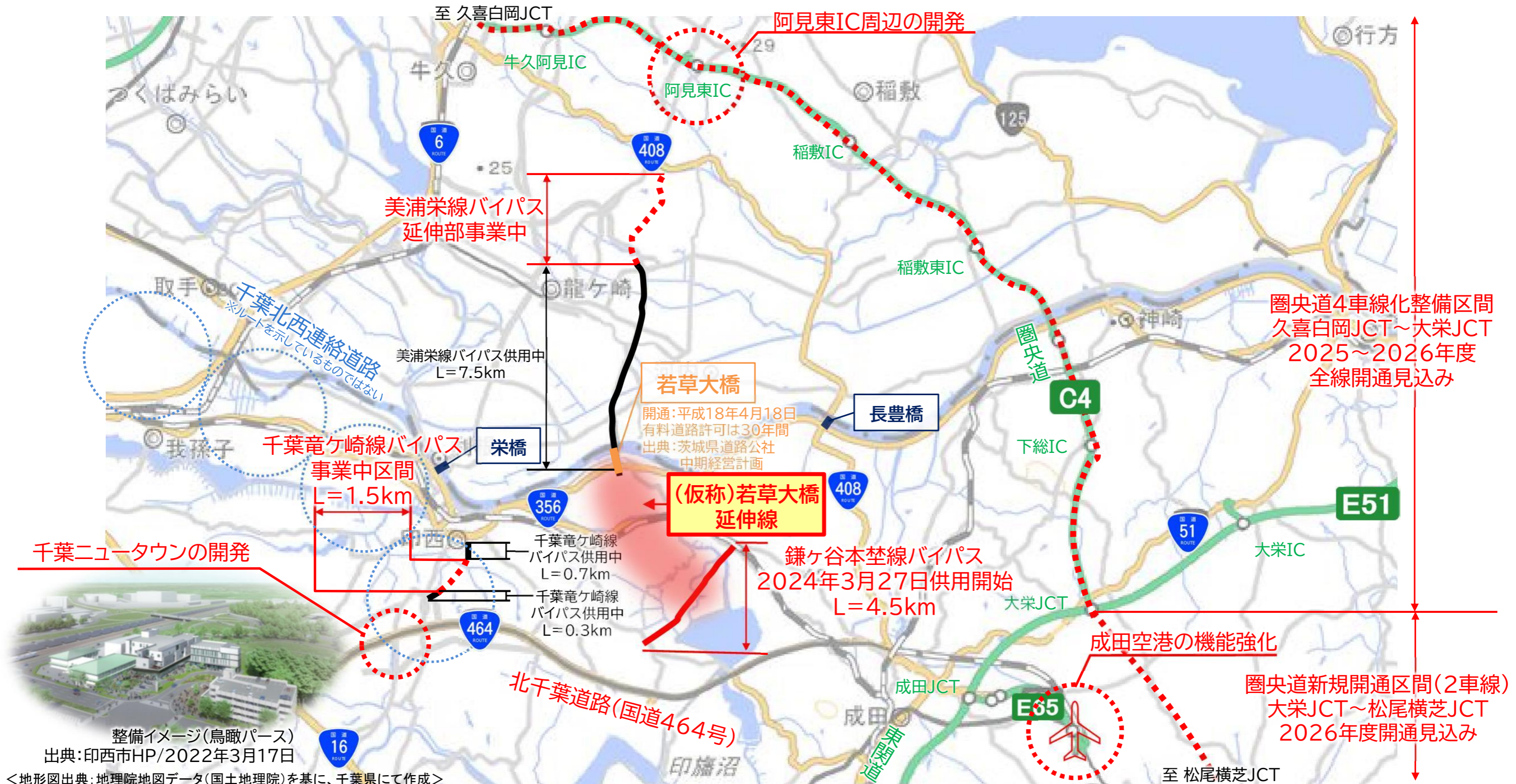
- ・印西市では、千葉ニュータウン周辺を除く地域で人口減少が進行しており、栄町では、町全体で人口減少が進行している。
- ・印西市では、国道464号沿線を中心に企業及び大型商業施設が集積している一方、栄町では、町全体の就業人口は減少傾向である。
- ・栄町では、流通業務施設の誘導を図るなど、雇用の創出に向けたエリア形成を目指している。

(仮称)若草大橋延伸線周辺地域のまちづくりの方向性と沿った道路計画の具体化が必要であり、市町のまちづくりや、鎌ヶ谷本埜線バイパス供用後の交通状況、将来交通推計を踏まえ、引き続き、道路計画の具体化に向け、検討していく。

1. 第1回ワーキンググループの概要

1.2 路線概要

- 若草大橋周辺は、東西軸として国道356号と北千葉道路(国道464号)、南北軸として国道408号等が存在。
- 圏央道(久喜白岡JCT~大栄JCT~松尾横芝間JCT)、千葉竜ヶ崎線バイパス、茨城県側的美浦栄線バイパス延伸部が事業中である。
県道鎌ヶ谷本埜線バイパスは2024年3月に供用を開始。
- 千葉ニュータウンの開発、成田空港の機能強化、圏央道阿見東IC周辺の物流施設開発が進められている。
- 千葉北西連絡道路の計画の具体化が進められている。



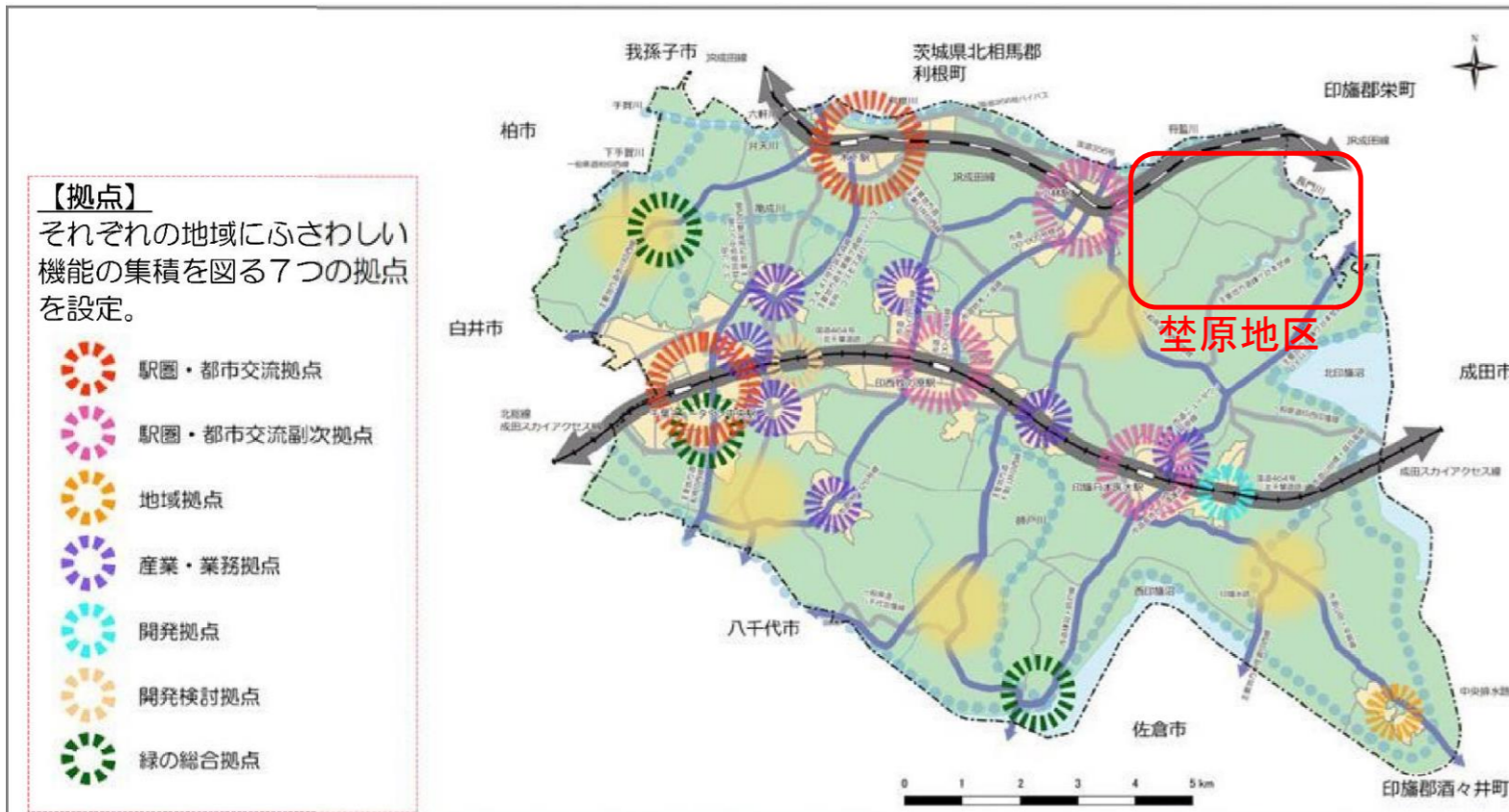
1. 第1回ワーキンググループの概要

1.3 第1回WG資料(抜粋)

2.1 印西市都市マスタープラン等

- 印西市は、東京方面や成田国際空港へのアクセスが良く、特に千葉ニュータウン地域は強固な地盤と質の高い都市基盤を背景に、住宅、企業及び大型商業施設が集積。
- 市の北東部に位置する埜原地区は、北印旛沼周辺に広がる田園地帯のほか、国道356号や主要地方道鎌ヶ谷本埜線の沿道などに集落地が形成。
- 豊かな地域資源を保全・活用することで、都市部と農村地域の交流を促し、人口減少・少子高齢化が進む状況の中でも、持続可能な集落地の生活形成を目指している。

○印西市 将来都市構造図



- 【拠点】**
それぞれの地域にふさわしい機能の集積を図る7つの拠点を設定。
- 駅圏・都市交流拠点
 - 駅圏・都市交流副次拠点
 - 地域拠点
 - 産業・業務拠点
 - 開発拠点
 - 開発検討拠点
 - 緑の総合拠点
- 【ゾーン】**
都市環境や自然環境の広がりやを区分する2つのゾーンを設定。
- 都市環境ゾーン
 - 自然共生ゾーン

- 【エリア】**
自然共生ゾーンの中でも、住宅や公共施設などが一部集積する集落地をエリアに設定。
- 生活形成保全エリア

- 【ネットワーク】**
主要な都市や地域の拠点、ゾーン間の人・モノのつながりを示す3つのネットワークを設定。
- 都市間ネットワーク
 - 地域間ネットワーク
 - 水と緑のネットワーク

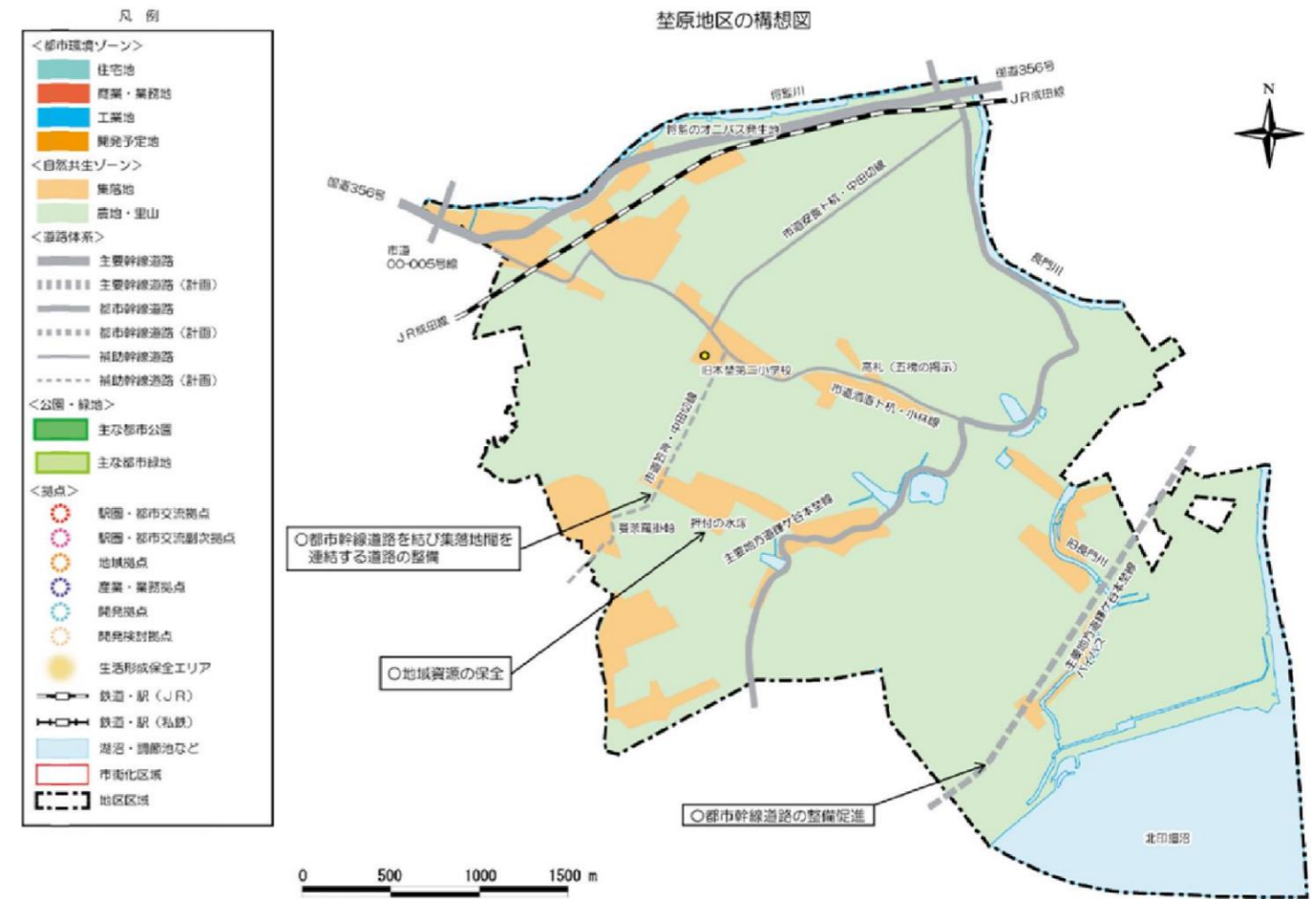
<出典:印西市都市マスタープラン概要版>

○埜原地区

日本の原風景が広がる中で、自然の恵みが感じられるまち

本地区は、北印旛沼やその周辺に広がる水田が形成する田園風景、また、長門川や将監川などの豊かな自然環境の中に溶け込む集落地が形成された地区です。

このため、豊かな地域資源を保全・活用することで、都市部と農村地域の交流を促し、人口減少・少子高齢化が進む状況の中でも、持続可能な集落地の生活形成を目指します。



<出典:印西市都市マスタープランp.190>

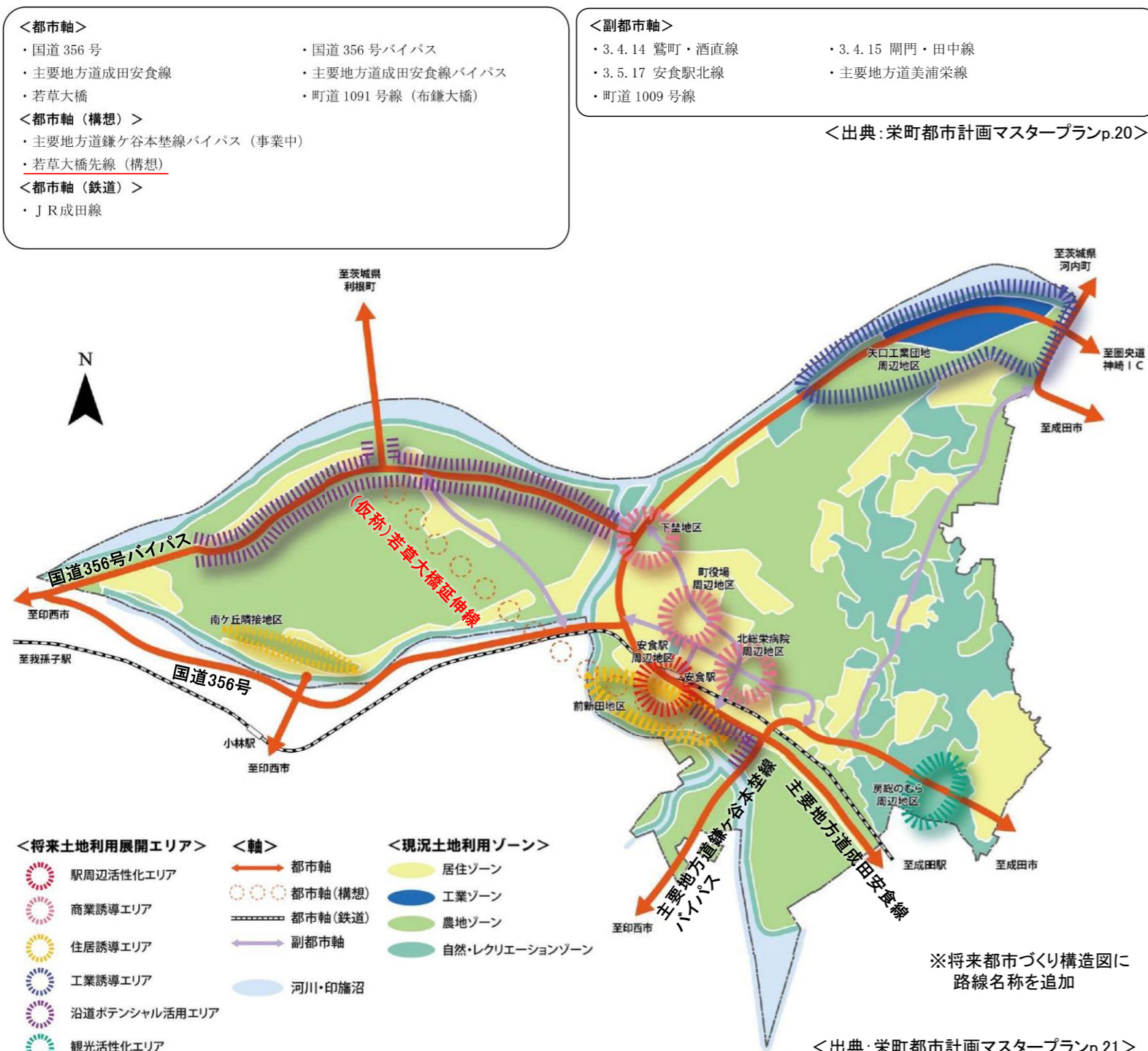
1. 第1回ワーキンググループの概要

1.3 第1回WG資料(抜粋)

2.2 栄町都市計画マスタープラン等

- 栄町は、昭和52年に都市計画を定め、その後、開発に伴い、人口は大幅に増加し、産業も発展し、町の活性化が図られてきたが、現在は、少子高齢化、産業の縮小傾向等、社会情勢の変化などの影響から様々な課題を抱えている。
- (仮称)若草大橋延伸線は、周辺都市を結び、広域での人や物の活発な活動を支える「都市軸」として位置づけ。
- 国道356号バイパス、鎌ヶ谷本埜線バイパスの沿道は、沿道ポテンシャル活用エリアとして位置づけ。流通業務施設の誘導を図るなど、雇用の創出に向けたエリア形成を目指している。

○栄町 将来都市づくり構造図



■将来土地利用展開エリアの考え方

エリア名	エリア形成の考え方
駅周辺活性化エリア	都市機能をコンパクトに集約するまちづくりを進める観点から、公共交通の結節点として、多くの住民が日常的に利用する駅周辺に「駅周辺活性化エリア」を配置し、観光客や住民の暮らしを支える店舗の集積を図るなど、にぎわいの創出に向けたエリア形成を目指します。<安食駅周辺地区>
商業誘導エリア	現況の集客施設の立地状況や既存の交通ネットワークなどを踏まえ、「商業誘導エリア」を配置し、暮らしを支える店舗の集積や広域的な需要を満たす集積型商業施設の誘導を図るなど、にぎわいととも雇用の創出に向けたエリア形成を目指します。<町役場周辺地区・北総栄病院周辺地区・下野地区>
住居誘導エリア	人口減少時代に見合ったコンパクトな集約型都市づくりを進める観点から、利便性が高く、居住環境として魅力のある駅を中心とした生活圏域を踏まえ、「住居誘導エリア」を配置し、居住地の受け皿とともににぎわいの創出に向けたエリア形成を目指します。<前新田地区・南ヶ丘隣接地区>
工業誘導エリア	本町の主要な産業地として食品加工を中心とした工場等が集積している矢口工業団地の周辺区域に「工業誘導エリア」を配置し、産業基盤の強化を図るとともに雇用の創出に向けたエリア形成を目指します。<矢口工業団地周辺地区>
沿道ポテンシャル活用エリア	順次開通が見込まれる首都圏中央連絡自動車道による広域ネットワーク網並びに成田空港からの距離的優位性や発着容量増に伴う貨物取扱量の更なる拡大を活かし、広域交通や物流の要となっている主要な幹線道路の沿道に「沿道ポテンシャル活用エリア」を配置し、流通業務施設の誘導を図るなど、雇用の創出に向けたエリア形成を目指します。<国道356号バイパス・主要地方道成田安食線・主要地方道鎌ヶ谷本埜線バイパス(事業中)>
観光活性化エリア	町内外の交流の核である房総のむらの周辺区域に「観光活性化エリア」を配置し、観光需要を高めるとともに、本町を訪れる交流人口の拡大を図るなど、にぎわいの創出に向けたエリア形成を目指します。<房総のむら周辺地区>

※表に該当する地区を追加。 <出典:栄町第5次総合計画(基本構想・前期基本計画)p.24>

■軸の考え方

軸名	軸の考え方
都市軸	本町の周辺都市を結び、広域での人や物の活発な活動を支える広域的な軸として、幹線道路及び鉄道を「都市軸」として位置づけます。
副都市軸	町内の各エリアを連絡し、町内の住民の暮らしに関わる活動や産業活動を支える身近な幹線道路を、「副都市軸」として位置づけます。

<出典:栄町第5次総合計画(基本構想・前期基本計画)p.24>

1. 第1回ワーキンググループの概要

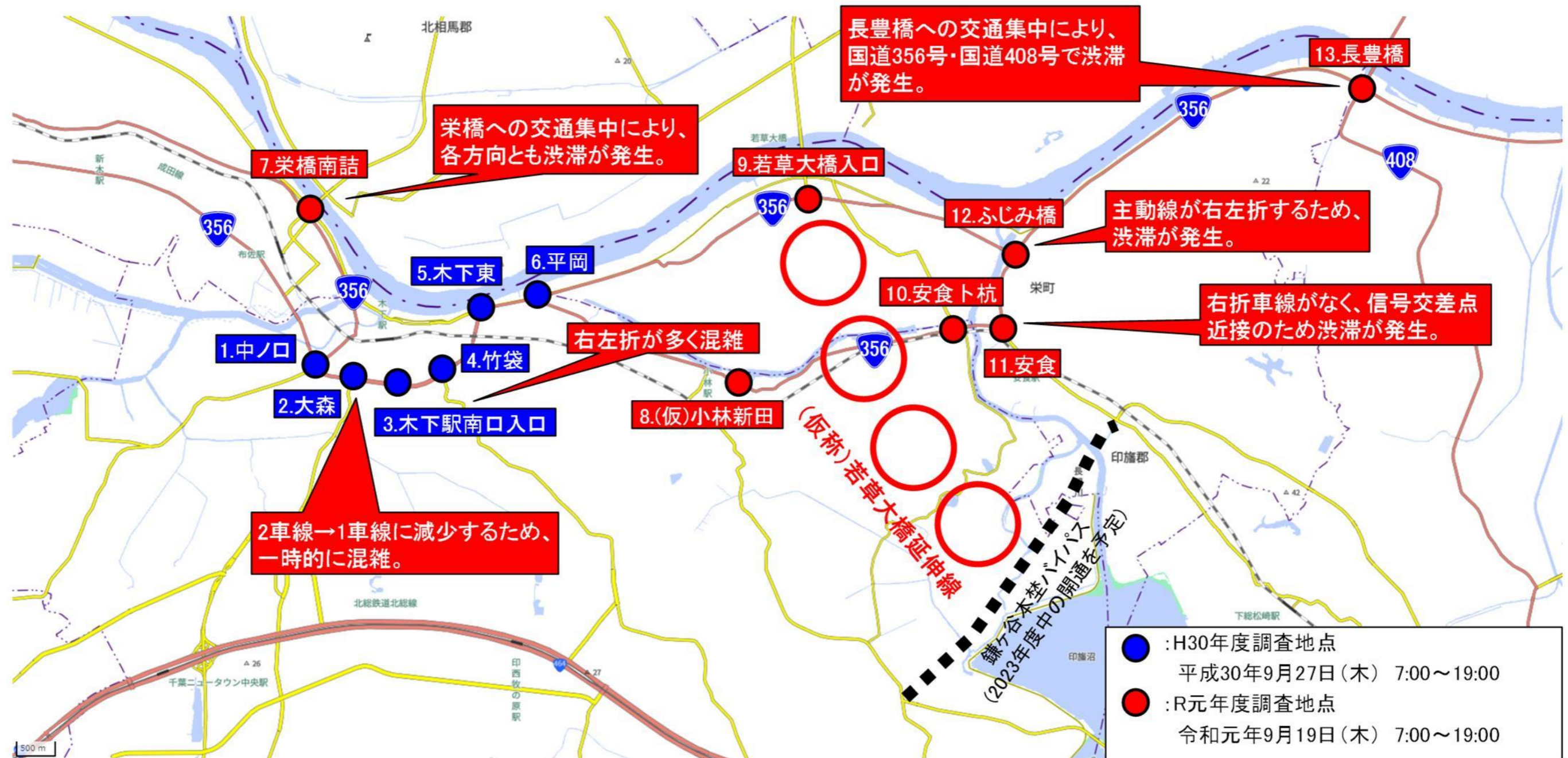
1.3 第1回WG資料(抜粋)

第1回WG資料p.10(R6.2.2開催)再掲

3. 周辺の交通状況・課題

(3) 交通渋滞(とりまとめ)

- 利根川の渡河橋である栄橋・長豊橋が交通のボトルネックとなり渋滞が発生している。また、南北方向の道路にアクセスするため、国道356号に交通が集中し渋滞が発生している。
- 安食市街地でも旅行速度が低下しており、安食交差点付近においても渋滞が発生している。



1. 第1回ワーキンググループの概要

1.3 第1回WG資料(抜粋)

第1回WG資料p.23(R6.2.2開催)再掲 ※第1回WG資料p.19~22のコメント等を集約、一部コントロール追加

5. 道路計画の具体化を見据えた際の地形上の課題について



凡例 (コントロールポイント)	
○	: 学校
○	: 神社・仏閣
○	: 鉄塔
●	: 公共施設
■	: 墓地・霊園
■	: 観光資源 (白鳥の郷)
■	: 家屋・小屋など
■	: ビニールハウス
■	: 沼・池・川など
■	: ソーラーパネル
—	: 国道356号, 国道464号
—	: 鎌ヶ谷本苳バイパス, 他県道
—	: 市道・町道
—	: 幹線水路
---	: JR成田線

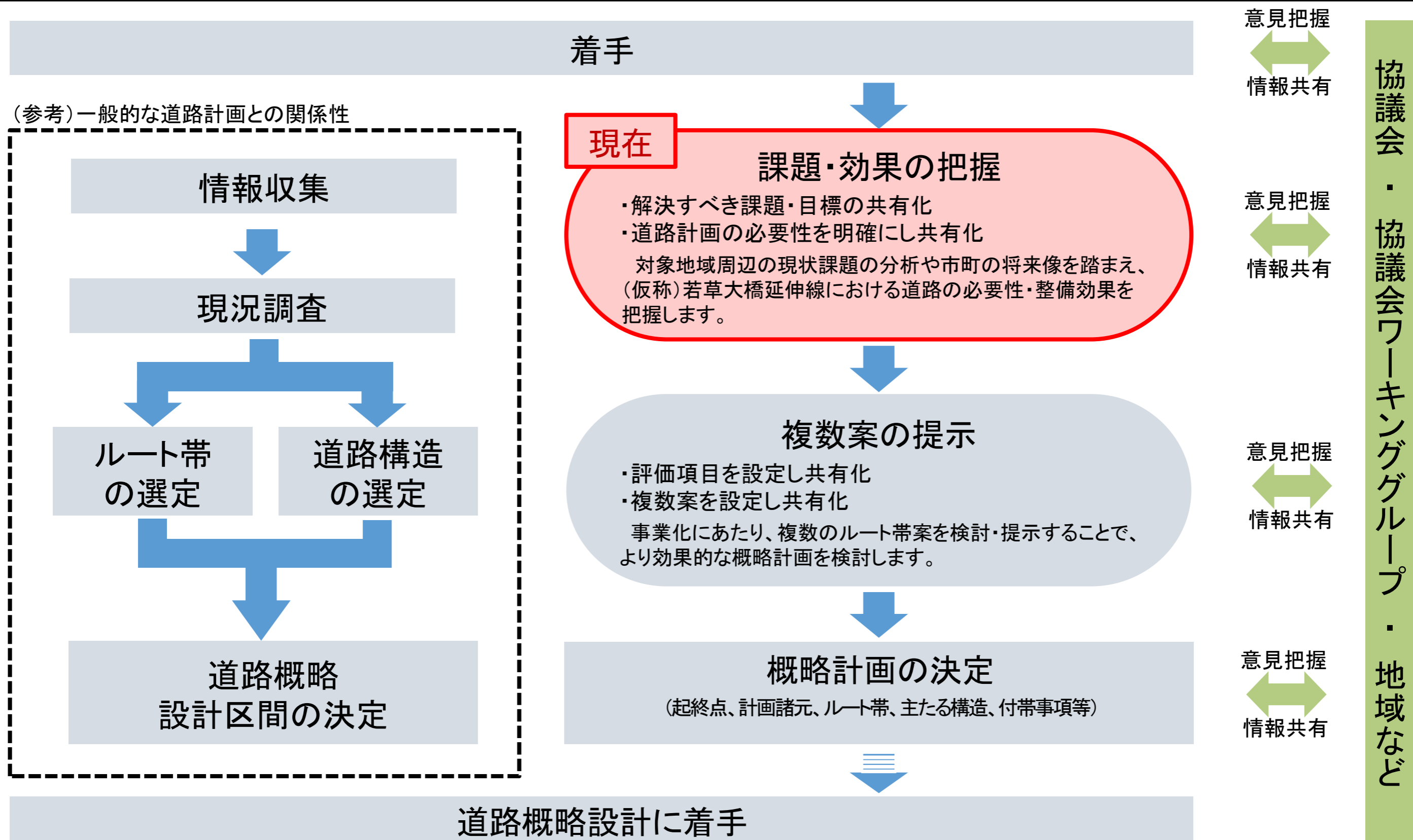
地形図出典: 地理院地図データ(国土地理院)を基に、千葉県にて加工

本ワーキンググループでの審議事項

2. 本ワーキンググループでの審議事項

2.1 概略計画（ルート帯・道路構造等）の検討の流れ

- 【課題・効果の把握】では、解決すべき課題・目標及び道路計画の必要性を明確にする。
- 【複数案の提示】では、ルート帯・主たる構造の複数案と、複数案を評価するための評価指標を確定する。
また、確定したルート帯・主たる構造の複数案を比較評価する。
- 検討する際には、市町のまちづくりの将来像や、技術的な制約や周辺への影響を考慮する他、地域の皆様の御意見・御要望を把握する。



2. 本ワーキンググループでの審議事項

2.2 御審議いただきたいこと

以下の事項について、御意見・御審議いただきたい

- ルート帯・道路構造やその評価指標を検討する上で、必要となる各市町のまちづくりの考え方について、御意見を伺いたい
- ルート帯・道路構造を検討する上で配慮すべき評価指標について御意見を伺いたい
- 地域の意見把握や情報発信の手法について御意見を伺いたい
- 今回示した検討方針案により、計画検討を進めてもよろしいか御意見を伺いたい